

5月の

広島中央保健生活協同組合だより

# けんこう

2016年5月号

2016年3月31日現在  
組合員数 29,938人  
出資金 12億311万円  
発行責任者 生協広報委員会

No.518

広島中央保健生活協同組合

編集部連絡先

〒733-0031

広島市西区観音町16-19

電話(082)-532-1264

FAX(082)-532-1267

アドレス

http://www.hch.coop/

Facebook

「広島中央保健生活協同組合」

## 法人理念

ともにいのちを大切にし、  
みんなが健康で安心して暮らせる社会をつくりま

## 取り組み方針

- 1.安心・安全な医療・介護・福祉の事業に取り組みます。
- 2.協同の力で、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。
- 3.憲法を守り、平和を守る運動に取り組みます。

第21回健康づくり学会を生協けんこうプラザで開催した。午前中は、健康づくり活動報告や次年度方針の提案、支部・職場より8本



日下美穂先生

# みんなので広げよう！ すこしお生活

の実践報告がありました。昼休憩には減塩弁当を味わい、日下先生ご紹介の県内企業6社より減塩商品紹介コーナーを設けるなど楽しい時間を過ごしました。

午後はいよいよ日下先生の記念講演会です。日本で一番多い病気が高血圧で、一番の原因は食塩過剰摂取。食塩は塩だけでなく様々な食品に含まれていることや、減塩の工夫について7つのポイントで紹介されました。その一つは乳和食です。乳和食は和食のデメリットである塩分過剰を抑え、不足がちなカルシウムやコクと旨味もアップ。レシピは味噌汁の味噌の

量を半分にし、半分はヨーグルトを加える手軽に実践できる内容です。

「すこしお生活」(少しの塩ですこやか生活)を行うためには、まず美味しい減塩食を自分の舌で味わい、次に家庭で近い味になるよう実践していくことが大切であると教わりました。

医療福祉生協でも、1日塩分6g未満をめざし、「すこしお生活」を提起しています。「すこしお生活」で病気の予防と健康寿命の延伸を目指し、参加した私達から「すこしお生活」がもっと広島県中に広がるよう社会に働きかけていける健康づくりの活動をすすめていきたいと思います。



笑いケアで笑いがあふれる

「こだわりのヘルシーグルメ Diet レストラン in 呉広島」では、広島県内にある飲食店で、1食分を低カロリー(400~600kcal)減塩(塩分2~3g)にしているランチを提供しているお店を多数紹介されています。

健康づくり委員会

## 掲示板

### 無料法律相談のご案内

5月14日(土)10時半~、福島生協病院相談室にて無料法律相談を行います。ご希望の方は下記までご予約ください。

お申込み

福島生協病院 医療相談室  
☎082-292-3171(代)

## 実践報告

- 給食サービス28年の歩み(福島支部)
- ストレッチ班(西区西支部)
- 健康のために元気で楽しい班会をしよう(田方支部)
- 楽しく予防「脳いきいき班」(南区東支部)
- 班活動16年の歴史に学ぶ(佐伯支部)
- 減塩ヘルシーメニュー「おいしく健康づくり」(己斐支部)
- 健診センターの魅力紹介(福島生協病院健診センター)
- これからの介護予防と地域づくり(観音地域包括支援センター)



みんなで記念写真

## 心の窓

自分に自信のない人はたくさんいると思います。「私なんて」「俺なんて」「どうせ出来ないよ」と、自信がないと何をやるにもなかなか一歩が踏み出せません。

自信のない人は不安な人です。じゃあ、「不安とは何か」ということです。

人生には不安がつきものです。自分の将来のこと、家族のこと、友人のこと、健康のこと不安のタネはたくさんあります。

考えだしたらキリがありません。不安があると不安を消し去るための行動を起すのです。

「自信」は「自分を信じる」と書きます。「何があっても自分は大丈夫だ」と自分の言ったことは最後まで信じているんです。責任を持つんです。

今出来ることをやりましょう。

「出来る」と言ったら未来が出てくる。

「出来ない」と言ったら未来が出てこない。

だから、「出来る」と言っているのはためなです。

この文章は数年前から少年院を回って話をする活動がテレビや新聞、雑誌等で話題になったゴルフ松本さんが出版された本「あっ！命の授業」にあったものです。

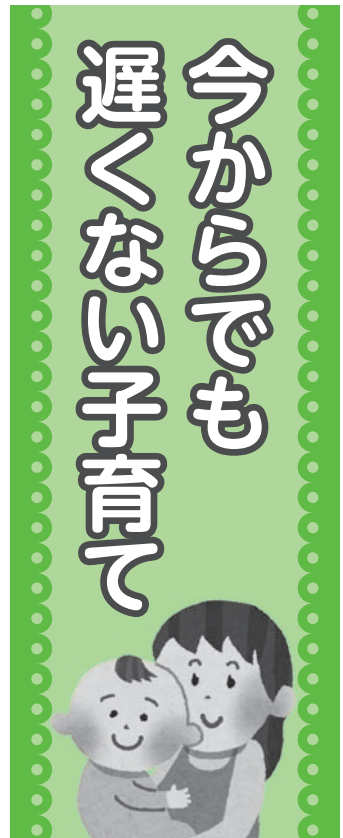
「出来る」この言葉をいつも考えられるようにしたいものです。

(かすみそづ)



3月26日、生協けんこうプラザで第10回子育て応援企画「今からでも遅くない子育て」講演会が開催され、42名の参加がありました。講師は、京都よりNPO法人福祉広場・理事長の池添素先生にお願いいただきました。参加者は、子育て世代はもちろんのこと保育関係者やおばあちゃん世代の方にも広がりました。

自らの子育て体験を踏まえながら「今からでも子育てはやり直せるんだよ」をキーワードに子育ての難しさや、子どもからのSOSを「甘え」と捉えずにきちんと受け止めてあげることが大切であることなど、悩みや不安を抱えている子育て世代にとって非常に前向きになれるお話をいただきました。参加者の方からは、「自分の子育てを見直すきっかけとなった」「子どものSOSには寄り添ってあげるのが大切である」などの感想をいただきました。



## 政治は動かせる 若者に学ぼう

「戦争法の廃止を求める統一署名」(2,000万署名)を大いに進めようと、3月25日、急遽シールズカンサイの野間陸さん(20歳)に講演に来てもらい50名以上の方が参加しました。シールズとは正式にはSEALDs(シールズ: Students Emergency Action for Liberal Democracy - s)で、自由で民主的な日本を守るための、学生による緊急アクションで担い手は10代から20代前半の若い世代の方々です。昨年、憲法違反の安保関連法(戦争法)の採決強行を阻止するために大いに活躍され、若者以外の多くの層の年代にも大きな影響を与

えています。インタビュー形式で野間さんに質問、聞けば普通の大学生です。でも普通の若者が自分の頭で政治を考え、自分の意志で行動する。勉強はもちろん、アルバイトやサークル活動もしながら日常の中で政治を考え語り合う。そういう姿が浮き上がりました。政治は特別な世界のことではなく、日常生活に密着したもの、野間さんの姿を通して日本の未来に希望を感じる集会となりました。



「戦争法廃止」署名にご協力を!!

### 出資金動向

3月の組合員増やしは95名で3桁にもう一息でした。出資金増やしは、ラストパートの呼びかけに多くの組合員さんに応えていただき、2,349万円もの増資が寄せられ、2015年度の純増は7,860万円となりました。

ラストパートで大きな成果!

### 子育て広場 コープ 5月の予定

## のびのびクラブ

日時 毎週水曜日 10時~12時  
場所 生協けんこうプラザ5階

5月 「のびのび」行事

- 第1週 4日 お休み
- 第2週 11日 お母さんの検診・身体測定
- 第3週 18日 親子で楽しむ日本語・英語手遊び
- 第4週 25日 オイル無しベビーマッサージ

※企画内容は都合により変更となる場合があります。

### 医療福祉生協のいのちの章典 実践交流集会

3月1日、大阪で行われた「医療福祉生協のいのちの章典」実践交流会に組合員4名、職員2名が参加しました。参加された伊藤さんより、感想を寄せていただきました。

◆「医療福祉生協のいのちの章典」実践交流集会に参加して

私たちの支部は再結成されて日が浅いため、今回の実践交流会で各地の活動を学びたいと思いました。どの実践も、いのちと真剣に向き合い、一層輝いて生きていくために困難な状況の中でも大変努力されていることに感謝し、元気をいただきました。そして日々の活動を「いのちの章典」という大きな視野に照らし合わせて実践する大切さを学びました。「生協の仲間がいれば地域で暮らしていける。そんな活動を目指したい」と言われた言葉が胸に響きました。これから「いのちの章典」を学びながら、一步一步輪を広げていけたらと思います。

横川・三篠支部 伊藤 道子

# 新病院オープン後、 初めて迎える新卒さん

# 39人が入職しました!

2016年4月1日、生協けんこうプラザにて、広島中央保健生協を担っていく新入職員の入職式が行われました。藤原理事長から期待が込められた祝辞が送られました。入職された39人は、新福島生協病院と生協小児科ひろしまが開院して初めて迎える新入職員さんです。学生時代に学んでこられた専門性を活かして、地域の組合員と協同して、生協の事業と運動を飛躍させる原動力となっていきます。

入職式を終えると、オリエンテーションが始まります。広島中央保健生協の歴史や理念、医療安全対策や感染予防の学習、盛谷専務より事業構想のお話もあり、福島地区の施設見学に出かけていきました。

今年のオリエンテーションは2日間かけて行われました。2日目は生協さえき病院に会場を移して行いました。甲斐事務長の歓迎挨拶、田中組織部長から当生協の組織活動の話、接遇やコミュニケーションスキルなどの講習も受けました。

組合員みなさん、よろしく願います!



## 新任医師紹介



小児科  
よしの 吉野 倫先生

4月1日から生協小児科ひろしまに着任されました。

前任の先生がご都合で退職された後、当生協の要請に応える形で着任され、患者さんや職員から大歓迎です。

吉野先生は香川大学の学生時代から福島生協病院に関心を持たれ、見学や実習もされました。かつて非常勤で福島生協病院に勤務されたこともあります。

先生は生協の病院は、組合員や患者さんがスタッフと一緒になっていい医療をめざしていることに共感され、またこの度は当生協が病児保育をはじめ、子育て支援もやっていること、予防、検診に力を入れているところに共鳴され、生協小児科ひろしまへの着任を決意されたそうです。

現在中学1年生の娘さん、小学1年生の息子さんの子育て中。「以前は乳幼児のお母さんと同じ目線だったけど、今は若いお母さんへのアドバイスに自分が通り過ぎてきた経験が活かしているかな」と笑顔で語られます。

昨年は体調を崩し1年間療養、その時はゲーミングをしたり、パンづくりで挑戦されました。「でも店で買って食べた方がおいしいです」とにっこり。

最近、ぎっくり腰になり運動不足を痛感、「昔やってたテニスでもはじめようか」と。また、書道は昔からやっていて、知人から書いてもらった「細く長く」の言葉はお気に入り。無理せずマイペースで、自分も子育てをしつつ長い目で診療を続けていきたいと決意を語られました。

## 研修医のご紹介

みやしょう えいじ  
後期研修医 宮庄 英治先生



福島生協病院で二年間の初期研修医を終え、この4月から当院で後期研修を開始することを決意された宮庄先生に、その思いをお聞きしました。

福島生協病院は研修できる環境がいいです。自分は積極的な方ではないし、多人数で競い合って研修するよりは、少人数の中でマイペースで研修するのが合っています。

いろんな診療科でもこのぐらいの病院の規模なら垣根がなく聞きたいことを遠慮なく質問できるのもいいです。

尊敬できるドクターもいて、また看護師や検査技師、MSW、栄養科や薬剤師など他科の職員さんとも話しやすく、仲間もでき、サポートもしてくれて研修がしやすいです。

外科を選んだのは、尊敬できる指導医にも恵まれ、外科で技能を磨くことにチャレンジしたいからです。また、外科に進んだ友人もいますので、励まし合いながら頑張ろうと思っています。

若いドクターに期待が集まります。充実した後期臨床研修となるよう今後も組合員・職員でサポートしていきましょう。

みよし さえこ  
初期研修医 三善 冴子先生



長崎市出身で、大学(長崎大学)まで長崎で過ごしました。おばあちゃんが被爆されています。また、クリスチャンである三善先生のご家族が礼拝する浦上天主堂も原爆によって破壊され、後に再建、そこで平和教育を学んだそうです。

4歳からバイオリンを習い、長崎大学では室内合奏団に所属、病院コンサートも何度か開かれています。また、バドミントン部にも所属、広島での生活が落ち着いたらスポーツを始めたいとにっこり。

初期研修医の地に広島を選ばれたのは広島好きなお父さんの勧め、そして福島生協病院を選んだのは各病院のホームページを見て、当院の地域に根差した医療に共感し、新鮮さを感じたからだそうです。

広島に住んでまだ間もない先生、お好み焼き店が多いこと、スーパーに牡蠣やホルモンが並んでいることにびっくり。また、広島の友人に野球観戦に誘われていて、「そのうちカーブに染まるかも...?」

研修医としての決意は、「教わったことは即、その場で最大限吸収したい」こと、一日一日、一瞬一瞬を大事にしていきたいとの思いが伝わってきました。

I. 2016年度の保健生協の重点課題(案)

# 協同の力で、いのち輝く社会をつくる

1.いのちと健康を守り暮らしを支える、広島中央保健生協の「地域包括ケア」づくりをすすめます。

(1)「3つのつながり」を軸に「地域包括ケア」の取り組みを強め、安心して住み続けられる「地域包括ケア」を実現する取り組みをすすめます。

○「つながりマップ」の取り組みを進展させ、くらしの困りごとなど住民の要求や行政・諸団体の活動を知らしめ、これらの連携を強め、いのちと健康を守り、暮らしを支える活動をすすめます。

○「集い、話し合い、学びあい、憩う」場所(居場所・サロン・たまり場)づくりをすすめ、たすけ合いの活動、多世代の交流を広げます。

○「けんこうチャレンジ」(すこしお生活(少しの塩です)やか生活)「健康診断の促進」をはじめ、健康づくりの多様な取り組みをすすめます。

○強く大きな組織をめざし、あらゆる活動を仲間ふやしにつなげる努力を強め、保健生協へ加入をすすめます。仲間ふやしの目標を3,000人とします。

○自治体の介護保険制度の改

の結成にチャレンジします。身近な地域のくらしを支える役割を担える支部の建設をめざします。

(2)いのちと健康を守り、くらしを支える事業基盤を構築します。

○次期中長期計画づくりと並行して、広島中央保健生協の「地域包括ケア」構想ならびに事業計画づくりをすすめ、その事業を支える出資金増やし目標を1億円・純増5,000万円とします。

○医療・介護制度の改変に即応し、医療・介護・生活支援を一体的に提供できる事業を成功させます。また、三生協(広島医療生協、生協ひろしま、広島中央保健生協)共同事業の計画作りも進めていきます。

○事業収益予算を達成し(前年比108%)、必要剰余を確保します。全事業所が前年を上回る事業収益を確保して、次期中長期計画を進める経営基盤づくりに着手します。

変にともなう「新しい総合事業」などの動向を把握し対応します。広島県生協連に結集し、行政や他団体との懇談や協議をすすめ、医療福祉生協の事業と活動を知らせ理解と信頼を広げます。

○医療福祉生協が、人権の尊重・社会保障の充実・私たちの権利と責任を明らかにした「いのちの章典」を学び、すべての活動にその視点を貫き、「いのちの章典」を実践する人づくりをすすめます。

2.日本国憲法が活きる平和な社会をめざし、学び・広げ・連帯をすすめます。

○①学び、②広げ、③連帯する「スタイル」を重視して活動します。

○憲法を守り、安全保障関連法の廃止を求め、平和と民主主義を守る取り組みを強めます。

○いのちとくらしを守り、社会保障の充実を求めるなど、要求実現活動に取り組みます。

(3)生協を担う組合員と職員が力を合わせ、広島中央保健生協「理念を活かし、住民と協同の力を輝かせます」

2月20日 60周年記念 斉藤ともし講演会

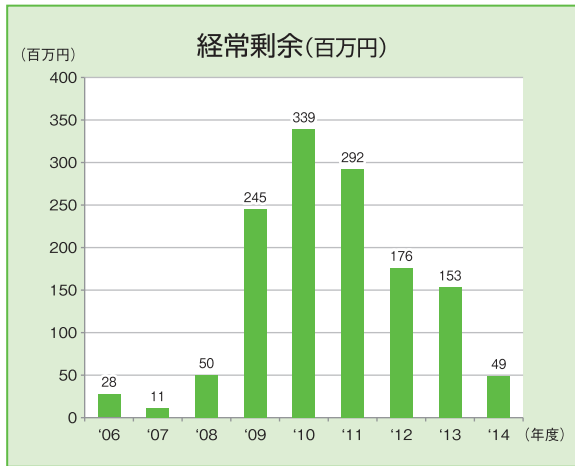
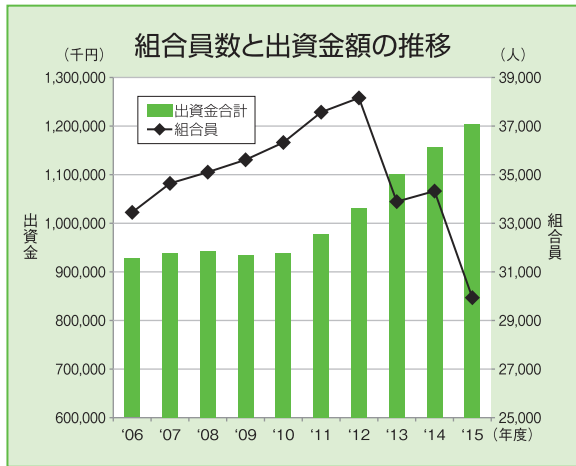
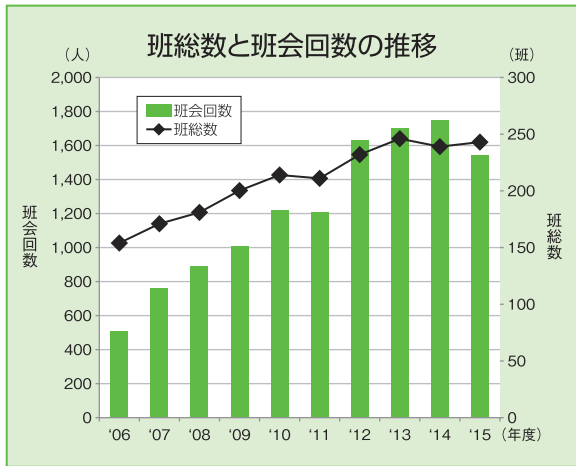
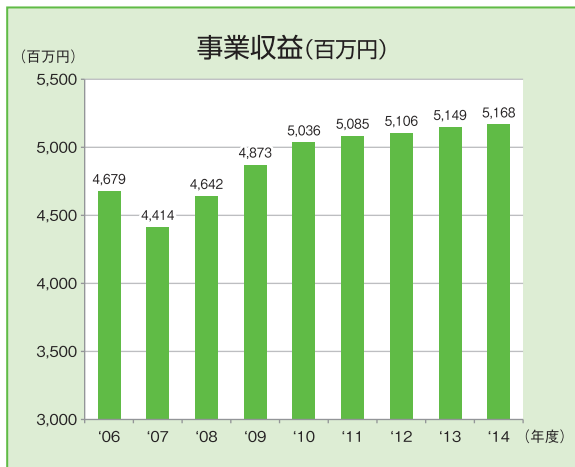
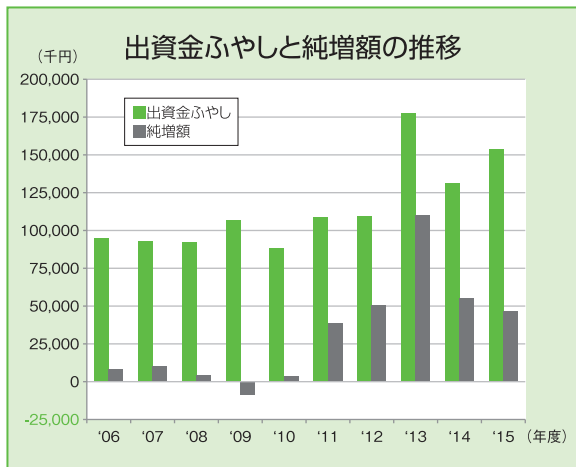
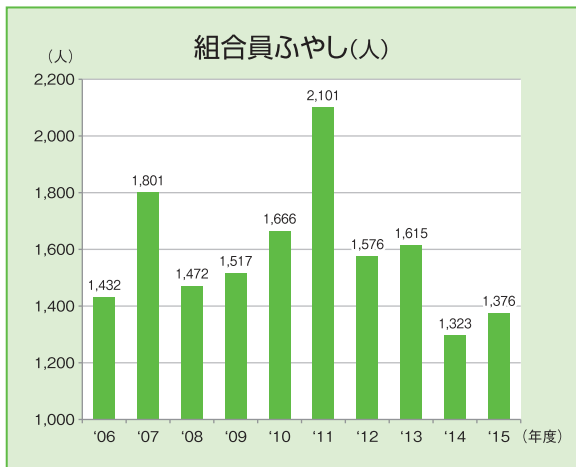
子さん



2月20日 60周年記念 斉藤ともし講演会

## ●組合員組織の発展と事業活動

第5次長期計画最終年となる2015年度は、「協同の力で、いのち輝く社会をつくる」をテーマに事業と運動に取り組みました。2012年から組合員と職員の協同の力で建設運動に取り組んできた新福島生協病院が9月2日にグランドオープンを果たし、11月4日には生協小児科ひろしまと病児保育室かんがる〜むがスタートしました。仲間ふやし・出資金ふやしは、多くの支部・事業所で自主目標は達成するものの、全体として総代会目標との乖離を埋める取り組みには至っていません。2016年4月の診療報酬改定は実質のマイナス改定(2014年から連続)、2018年には医療・介護報酬の同時改定が控えています。社会保障は地域住民のいのちとくらしを守るものとしてなくてはならないものです。平和を守る運動とともに、大いに取り組んでいく必要があります。



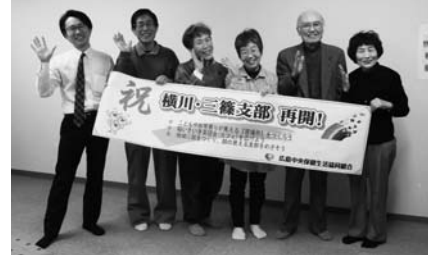
Ⅱ. 2015年度の活動の特徴

2014年度四課題	実績	前年度実績	前年度差	前年比	目標(計画)	差	計画比
①仲間ふやし(人)	1,376	1,323	53	104.0%	3,000	▲1,624	45.9%
②出資金ふやし(千円)	153,940	140,524	13,416	109.5%	200,000	▲46,060	77.0%
③純増資者数(人)	4,744	4,868	▲124	97.5%			
④出資金純増(千円)	46,843	55,306	▲8,463	84.7%	100,000	▲53,157	46.8%
⑤減資(千円)	107,097	85,218	21,879	125.7%	100,000	7,097	107.1%
うち、みなし脱退による減資	31,821						
通年の純増	78,664						
⑥新規積立増資者数(人)	66	73	▲7	90.4%	200	▲134	33.0%
⑦支部づくり	1	0	1				
⑧班づくり	25	25	0	100.0%	50	▲25	50.0%
⑨担い手づくり(人)	67	78	▲11	85.9%	200	▲133	33.5%
⑩機関紙配布数	15,858	15,480	378	102.4%			

\*支部づくり実績の1件は、5年7ヶ月ぶりに支部活動を再開した横川三篠支部のこと



10月25日 生協こどもまつり



11月26日 横川三篠支部

(1) 2015年度内に25支部中22支部が「つながりマップ」づくりに着手し、地域の状況と住民要求をつかみまし  
た。たすけ合いの会の活動が複数の支部で始まり、地域包括支援センターなどとの懇談も進みました。  
「けんこうチャレンジャー」は、県生協連が主催者となり、広島中央保健生協・広島医療生協・福山医療生協で実行委員会を組織して取り組み、当生協で1,540人・広島県全体では3,803人の参加がありました。広島県やJA広島中央会がとも協力的であったことや、県内三生協合同での取り組みの初年度に3,800件を進めたということで大変

評価されています。「すこしお生活(少しの塩ですこやか生活)」「笑いケア」・「セーフティウォーキング」などの活動もおおいに取り組まれ、医療福祉生協の魅力を広げ、他団体との連携や協力もすすみ、「医療福祉生協の地域包括ケアづくり」に向けて、多様に新しい可能性を開いてきました。  
5年7ヶ月ほど支部としての活動が休止していた横川・三篠支部が、1年間の準備期間を経て2015年11月に再開し、喜び合いました。仲間ふやしは総代会目標に対して4割の到達に留まりましたが昨年実績を超えました。  
増資は、昨年を超える出

資金増やしを進め、2014年度分と2015年度分の住所不明組合員のみなし脱退処理(4,871件・31,821千円)を行ったため、純増が46,843千円となつていますが、みなし脱退分を除いて、7,860万円の純増を進めました。  
(2) 生協創立60周年記念講演会を2月20日に500人の参加で成功させ、様々な60周年記念事業を通じて歴史に学んだ一年となりました。  
3年にわたる建設運動を経て、念願であった福島生協病院の新築移転を成功させました。組合員ボランティアの養成も進み、8月23日の開院祝賀会は258名の参加となりました。新福島生協病院は、生協内科クリニックを統合し、新たに回復期リハビリ病棟と地域包括ケア病棟を開設しました。新しい機能で地域連携も一層進み、オープンして4ヶ月目には入院ベッドも満床となりました。  
生協内科クリニックの施設を改築した生協小児科ひろしまのオープンにあたっては、10月25日に800名の参加で生協こどもまつりを成功させ、利用者増にも貢献しました。併設された「病児保育室かんがるくむ」も近隣にお住まいの方から大変喜ばれ、2016年2月の一日平均利用者数は6・2人となりました。  
草津地域で「定期巡回・随時対応介護看護」に応募し、採択されました。

これらの事業を進めるための、事業収益は前年比100・3%・経常剰余は3億7,700万円の赤字となりました。  
(3) 平和・憲法、くらし・いのちを守る取り組みでは、「ストップ戦争法・アピール宣言行動」を7月から9月まで、延べ19回(福島13回/ささえ6回)開催しました。法案が衆議院を通過後の7月24日には職員60名を含む150名の参加で、集会和横川駅までのデモを行いました。法案成立後は4月末まで、戦争法の廃止を求める2,000万人統一署名に取組み、2,174筆(4月13日現在)集めました。  
5年おきに開催されるNPT再検討会議には職員1名を派遣しました。  
支部・ブロックでは介護保険制度の学習が多様に取り組み、事業所では、社保課題と経営課題の両側面から、診療報酬改定・病床機能の問題・広島県の地域医療構想についてなどを学習し、対応とたかひを進めました。



8月6日 雨宮処凛講演会



8月23日 福島生協病院 竣工開院祝賀会

2015年度 組合員活動日誌

日付	活動内容	参加人数
4/4	生協リバーサイドウォーキング2015	55人
4/11~5/29	支部総会(24支部で開催)	468人
5/22~9/30	健康づくりマスター養成講座 第1回(5/22) 健康チェック 34人 第2回(6/17) お口の健康 32人 第3回(6/24) セーフティウォーキング 31人 第4回(7/15) 食事と健康 33人 第5回(7/22) 脳いさいきインストラクター養成講座 34人 第6回(8/19) 普通救命講習 26人 第7回(9/30) 笑いケア・修了式 29人	219人
5/31	広島市消費者のひろば(健康チェック)	120人
6/1~3	ブロック別総代会議(西部・中央・東部)	112人
6/13	第60回通常総代会	204人
6/26	網の目平和行進	30人
6/28	第27回統一訪問行動(己斐支部主催)	14人
6/29	つながりマップづくりスタート集会	40人
7/5	第28回統一訪問行動(己斐上支部主催)	9人
7/7	七夕ウォーク	14人

日付	活動内容	参加人数
8/5	ピースアクションinひろしま 虹のひろば	60人
8/6	雨宮処凛トークセッション	190人
8/23	新病院内覧会&祝賀会	258人
9/2	新病院診療開始	
9/8	集まれ!けんこうチャレンジャー	41人
9/15	日本高齢者大会	7人
10/3	生協強化月間せーの行動 統一訪問	20人
10/25	生協こどもまつり	約800人
10/30	第2回生協ミニ運動会&体力測定会	19人
11/17	第29回統一訪問行動(五日市支部主催)	8人
2016/1/28	いのちの章典実践交流会	78人
2/5~	くらしと福祉の学校「介護保険学習会」(ブロック、支部で計12回開催)	270人
2/13	虹のバレンタイン行動	32人
2/20	生協創立60周年記念講演会	500人
3/1	第30回統一訪問行動(五日市支部主催)	12人
3/17	第21回健康づくり学会	120人
3/26	第10回子育て応援企画「今からでも遅くない子育て」	42人



# 診療のごあんない



(2016年5月から)

受付時間			月	火	水	木	金	土	
<b>福島生協病院</b> 082-292-3171 (健診:082-292-3215)	午前	8:30~11:45 診察は9:00~	内科	大津 保手浜 藤原(予約) 高岡(予約) 多比良(予約) 楠本(予約)	多比良 楠本 神尾 藤原(予約) 石橋(予約) 高岡(予約) 飯田(予約)	高岡 飯田 宇野 藤原(予約) 石橋(予約) 楠本(予約) 飯田(予約) 大津(予約)	石橋 宮庄 神尾 世戸(予約) 高岡(予約) 多比良(予約) 濱本(予約)	藤原 濱本 石橋(予約) 高岡(予約) 多比良(予約) 大津(予約) 琴崎(予約)	大 学 交 替 交替(予約) 交替(予約) 多比良(予約) 大津(予約) 石田・佐倉
			健診	伊藤	宇野	交替	藤原	伊藤	石田・佐倉
			外科	北口 宮庄	田代 9:30~原田	北口	北口	田代	9:30~交替 10:00~診察
			整形外科	長谷川 杉本(予約)	11:00まで杉本	11:00まで長谷川	長谷川 杉本(予約)	杉本	交替
			産婦人科	交替		交替		交替	交替(第2・4週休診)
			眼科	岡野 松浦	岡野 松浦	岡野 松浦	11:00まで岡野 11:00まで松浦	岡野 松浦	交替 (第2週休診)
			耳鼻咽喉科	川真田	川真田	川真田	川真田	川真田	川真田(第2週休診)
			皮膚科	梅田				戸田	交替
			泌尿器科		9:30~後藤			10:00~亭島	交替
			午後	13:45~16:45 診察は14:00~	内科	石橋(予約) 多比良(予約) 飯田(予約)	世戸(予約) 大津(予約)	石橋(予約)	藤原(予約) 叶(予約) 石橋(予約) 田代・原田
外科									
整形外科						装具外来 予約制			
眼科	岡野					松浦			
耳鼻咽喉科	川真田	川真田	第2・4週 補聴器外来	川真田					
夜間	16:30~18:00 診察は17:00~	内科				藤原/石橋(予約)			
<b>生協小児科ひろしま</b> 082-532-1260	午前	8:30~11:45 診察は9:00~	吉野 西川	吉野	吉野 西川	吉野 西川	吉野 西川	吉野(第2・4週休診)	
	午後	12:45~14:15 14:30~16:30	予防接種	予防接種		乳児健診受付は13:30まで	予防接種		
	吉野	吉野	吉野	吉野	吉野				
<b>生協歯科ひろしま</b> 082-291-1333	午前	8:30~11:30	今川 高橋 保子 平岡 松井	高橋 保子 山本 古谷 松井	今川 高橋 平岡 松井	今川 高橋 山本 平岡	今川 保子 高橋 平岡	11:30まで交替	
	午後	11:30~16:30	今川 山本 平岡	今川 高橋 山本 古谷 (平岡)		高橋 保子 松井	今川 高橋 平岡		
	夜間	16:30~19:30	高橋 山本 松井	今川 保子 平岡		今川 保子 平岡	高橋 山本 松井		
	今川	今川		高橋	今川				
<b>生協さえき病院</b> 082-926-4511	午前	9:00~12:00	内科	重本 沼本	福山 荒井	占部	叶 荒井	高内	高内 交替 服部10:30~(月2回)
			内科(予約)	福山	重本 伊藤	重本	福山	福山	
			健診	根本	根本	南方	根本	松本	交替
			整形外科	倉員(初診)三好(再診)	三好	倉員	三好	三好	交替 10:30まで
	午後	15:00~17:00	内科	高内	重本 14:00~17:00 伊藤	南方		荒井	
整形外科	倉員		倉員		倉員				
夜間	17:00~18:30	内科	高内				17:00~20:00 福山		
<b>生協さえき病院歯科</b> 082-926-1148	午前	8:30~11:30	末井 星 高浜	末井 星 高浜	末井 星 高浜	末井 星 高浜	末井 星 高浜	末井 星 高浜	
	午後	13:30~17:00	末井 星 高浜	末井16:00まで 高浜16:30まで	末井 星 高浜		星16:00まで 高浜		
	夜間	17:00~19:30		17:00~末井 16:00~星 17:30~高浜			16:00~末井 17:00~星		
	末井	末井			末井				
<b>コープ五日市診療所</b> 082-924-0608	午前	9:00~12:00	内科	佐々木(敏)	佐々木(敏)	佐々木(伸)	佐々木(伸)	佐々木(敏)	佐々木(敏) (第1・3週休診)
	午後	15:00~16:30	内科	佐々木(敏)		佐々木(敏)			
<b>草津診療所</b> 082-272-8665	午前	9:00~12:00	内科	世戸	世戸	世戸	福島生協病院医師	世戸	世戸(第3週休診)
	午後	15:00~18:00	内科	世戸		世戸	世戸	世戸	
夜間	18:00~19:00	内科					世戸		

わがまち **散歩** ほうそう 泡瘡神社 Vol.43

神社内に奉寄進堀越三丁目町内会の碑がある。神社はJR向洋駅から青崎1、2、3丁目を過ぎて堀越集会所からせまい山道を登る。道は狭く自動車通行不可である。

今は前面を国道2号線が走り左右は日本製鋼所とマツダの工場が広がり昔は海だったとは想像できない。

およそ800年昔、源義朝は討死し、その側室であった常盤御前は三人の子どもを連れて平清盛のところへ助命嘆願に行きました。その後生まれたのが「天女姫」です。源義経とは異父同腹の兄妹です。

姫はその名の通り天女のような美女でした。不幸にも泡瘡(天然痘)にかかりました。この時代天然痘は死亡率の極めて高い死病でした。

父清盛は船をしたてて、平家の守り神である巖島神社へ祈願に行きました。しかしその効なく、帰途、姫は亡くなりました。

治承三年(1179年)2月29日、14歳でした。

そして、金銀12枚、手玉7個、玩具7個、肌身離さず持っていた一寸八分の黄金仏を埋めたと伝わっています。



ほうそう 泡瘡神社  
南区堀越三丁目22

職場 **探訪**

● 医局事務課

医師の一日は忙しく、外来診療、病棟回診、カンファレンスなどに追われています。医局事務課の業務は、多忙な先生方を支える為、勤務に関する諸届けなどの事務手続きを行っています。また、ストレスなく過ごせるよう医局内の環境整備も心掛けています。



もう一つの使命は、広島中央保健生協を支える医師の確保とその育成です。その取り組みは、現役医師、医学生、医学部を目指す高校生と多岐に渡ります。

医師との定期的な懇談、OB医師を訪問しての情報交換、求人情報の公開、紹介業者との折衝などを行います。中には「今は難しいけど将来お世話になるかも」というケースもあり、長いつながりを保つことが重要となります。

医学生には、卒後の2年間(初期研修)を当院で経験してもらうようお誘いしています。その前提として、病院実習や職員・地域組合員との交流を通して生協との関わりを深めています。また、社会を広く見る(診る)目を培う為、広島民医連と協力して医学生と職員がともに学習を行っています。その他、高校生の1日医師体験、医学部受験相談会や模擬面接を行い、当院への共感を広げる機会を設けています。

このように医局事務課の業務は一朝一夕ではいかず、常に種を蒔き耕すことと言えます。医療福祉生協の医療の実践を未来につなげ広げる、医療福祉生協愛が溢れる職場です。

私の **趣味・特技・生きがい**

♥ 安来節で元気いっぱい ~ご主人の応援で今日もいきいき~ ♥

八幡東にお住まいの土井宏美さん(74歳)をご紹介します。

昔から民謡をされていた土井さん、12、3年前から安来節を習い始められました。男踊りの「どじょうすくい」や銭太鼓を始めて稽古には本場の島根にも通っておられます。その腕前は素晴らしく、300人ぐらいで競う山陽・四国大会二段の部で準優勝に輝きました。5年前からは老人ホームやデイサービスに慰問に行かれ、「どじょうすくい」の滑稽なしぐさにお年寄りが大笑い、元気を振りまいておられます。また、公民

館で子どもたちにボランティアで教えたりもされています。この動作、実際やってみるときついきつい、結構な脚の筋トレになり、土井さんは7、8階ぐらいの建物だったらエレベーターは使わないそうです。

銭太鼓も頭と手を高度に使い、おかげでいつでも元気な土井さん、「けんこう」の仕分けや幹線、手配りも元気にされています。

土井さんが活躍できるのもご主人の応援のおかげ、「行ってらっしゃい」と笑顔で見送るご主人に感謝の念は忘れません。



4月~7月は 『健康チェック&健診月間』

健康づくり委員会では2016年4月~7月を「健康チェック&健診月間」と位置付けました。医療福祉生協の健康づくり活動は「健康チェック」と「健診受診」の二本柱です。すべての班で健康チェックの実施を位置付けていきましょう。また、年に一度は「健康診断(人間ドック)」を受けて、全身のチェックをしましょう。

期間	月間テーマ
4月~7月	健康チェック&健診月間
8月~11月	塩分チェック&減塩(すこしお)月間
12月~3月	運動月間

月間に合わせて「健康チェック講座」を各地域で開催します。ぜひ各支部・班からご参加ください。

参加申込みは生協組織部へ(082-532-1264)

日程	開催場所
5月30日(月) 13:30~15:30	生協けんこうプラザ5階 (佐伯区八幡東3-11-29)
5月31日(火) 13:30~15:30	生協さえき病院5階 (西区観音町16-19)
6月14日(火) 13:30~15:30	安芸区地域福祉センター3階 (安芸区船越南3-2-16)

# 組合員の輪

## お楽しみ会 安芸府中支部



3月26日、安芸府中支部のお楽しみ会が開かれました。まずビンゴゲームから始まりましたが、普通のビンゴではありません。それぞれが思いつく花、動物、果物を9マスに書き込み、順番で自分の書いたものの中から1つを言っていきます。変わったものを書くとなかなか3マス揃いません。3回やって全員が「賞品獲得権(?)」を得ました。

つぎはフォークダンス。昔踊ったマイムマイム。足がもつれておととと。

後半は、つながりマップづくり。安芸府中支部はこの日が最初です。それぞれが住んでいる4つのエリアに分かれて、医療機関や介護事業所などの所在地を地図に落としていきます。「このエリアは事業所が少ないよね」「事業所名簿では、たくさんあるようだけど、1つの事業所が複数の事業をやっているんだね」など地図を見ながら自然に感想が出ます。

地域の歴史に詳しい方からは「昔の街道はこの道」「このあたりは沼のようだった」など興味深い話も聞きました。

## 今年も晴れ! 五日市けんこうバザー 五日市支部

3月27日、今年も「五日市けんこうバザー」をコープ五日市診療所と駐車場で開催しました。前日から天気予報も空模様もあやしかったのですが、けんこうバザー開催中は雨が降ることなく、無事に終わることができました。

駐車場では、フリーマーケットで西部ブロックの支部や班、五日市訪問看護ステーションが出店し、さえき病院利用委員会は「こどものひろば」として子どもたちが遊べるコーナーも作ってくれました。五日市支部による豚汁・おむすび・焼き芋の販売も好評でした。



診療所では、今年もたくさんの職員とお手伝いの組合員さんが協力して健康チェックを実施しました。この日の健康チェックは特別に無料で骨密度測定ができることもあり、10時の開始前からたくさんの方が列をなして、計45人の方の健康チェックをしました。

この五日市けんこうバザーで一番頑張っているのは、やはり五日市支部のメンバーですが、地域の組合員さんや他支部、五日市診療所の職員など、いろいろな方の助けがあるからこそ、毎年五日市けんこうバザーを成功させることができています。これからも、みんなの力を合わせて、五日市けんこうバザーを続けていきましょう!

## 健康マージャンで若返り 健康マージャン班会



3月から健康プラザで健康マージャン班会が始まりました。麻雀と言えば、徹夜で座りっぱなしでくわえ煙草で時には賭けてというあまり健康にはよくないイメージがありますが、この「健康麻雀(麻雀ではなく、こう書くそうです)」は「賭けない、飲まない、吸わない」が大原則、頭も使い、指先も使うので、脳いきいきにはもってこいです。デイサービスや、高齢者のサロンでも始めたところがあるそうです。

今回は指導者2名に来てもらい、2グループに分かれて手ほどきを受けました。2時間があっというまに過ぎていきました。

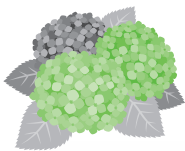
(お問い合わせは組織部 082-532-1264まで)

# おたより募集

## 川柳、俳句、短歌

次号6月号は「紫陽花(あじさい)」です。7月号は「浴衣(ゆかた)」です。自由演題でも結構です。

その他、「私の家族(ペット)」を募集しています。写真と簡単な紹介文を編集部までお送りください。また、おたよりは、ハガキ、ファックス、電子メールにてお寄せください。掲載させて頂いた方の中から、抽選で5名の方に図書カードをプレゼント。たくさんのおたよりお待ちしております。当選は発送をもって代えさせていただきます。



## けんこう読者投稿企画

「百歳万歳」…百歳に近い元気な組合員を紹介したいと思います。「わたしの趣味、特技、生きがい」…こんな凄い組合員がいるよ、という紹介があれば、ご連絡ください。もちろんご自分のことでも結構です。「わたしの健康法」…健康のために心がけていること、やっていることなど投稿をお待ちしています。

## 文字数

原稿用紙1枚程度(約400字)

## 応募方法

郵便か電子メールでお送りください。お名前、ご住所、電話番号をお忘れなく。

## 宛先

733-0031 広島市西区観音町16-19-4F  
広島中央保健生協 組織部 けんこう編集係  
E-mail:soshikibu@hch.coop

## 俳句・山柳

### へお題「のぼり」

こいのぼり 嬰の眼差し無新なる

油野はつ枝

### へ自由句

七十路も 思い変えれば青春に

TOKIKO

草餅を焼けば故郷と母のこと

協子

血圧と株価と円が乱高下

安芸東支部

## 理事会より

- 2016年2月は、新福島生協病院オープン(9月)後初の予算達成となりました。生協小児科ひろしまに併設した病児保育室かんがる〜むの利用も1日平均6.2人と大きく広がりました。
- 健康づくり委員会が広島市西区と懇談会を開催しました。広島市健診・がん検診の受診券が4月半ばに郵送されることがわかりました。ご自宅に受診券が届いたら、健診を受けるまで保管するようにお知らせしましょう。
- 2016年3月末に、2014年度と2015年度の住所不明組合員4,871名のみなし自由脱退処理を行い、出資金3,200万円を預かり金に切り換えます。